

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第 306 号

令和 6 年 12 月 5 日  
瀬戸市立幡山中学校



## 子どもたちがつないだ平和の象徴「ぞうれっしゃ」

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

先日、第 80 回日本 PTA 東海北陸ブロック研究大会愛知大会が開催され、2 日目の式典と記念講演に参加しました。大会の最後を締めくくったのは、記念講演「合唱構成 ぞうれっしゃがやってきた」です。このお話の舞台は、昭和 20 年ごろ、太平洋戦争の最中の東山動物園であり、子どもたちに大人気だったゾウの物語です。

戦争が激しさを増す中、空襲で檻が壊れ、猛獣が逃げ出す危険を防ぐため、動物園の動物を殺処分するという命令が出されました。東山動物園も例外ではなく、多くの動物たちが犠牲となりました。しかし、終戦を迎える中、当時の園長や飼育員たちが懸命に努力した結果、ゾウ 2 頭を含む数種類の動物たちの命が守られました。

その後、東京・台東区の子ども議会では、「上野動物園でゾウを見ることができない」という議題が取り上げられました。そして、「名古屋にいるゾウを借りられないか」という要望が挙がります。しかし、戦争で弱ったゾウを東京まで運ぶのは難しい状況でした。そこで、ゾウの代わりに子どもたちを名古屋に招こうという案が生まれ、最終的に東京などから約 3000 人の子どもたちが名古屋を訪れることになりました。この子どもたちを運んだ列車こそが「ぞうれっしゃ」です。

今回、このエピソードを題材にした合唱曲を初めて鑑賞する機会を得ました。戦時中の不安や動物たちが犠牲になる悲劇、そして国を動かすほどの子どもたちの強い思いが、音楽を通して鮮やかに描かれていました。各地の合唱団から集まった老若男女が一つになり、心を込めて歌い上げた舞台は、深い感動を呼び起こしました。講演の最後には、テーマ曲「ぞうれっしゃよはしれ」を客席の参加者全員で歌い、盛大なフィナーレを迎えました。終演後もホール内には余韻が広がり、素敵なひとときを味わうことができました。



この曲が、これからも子どもたちの幸せと平和を願う象徴として歌い継がれていくことを心から願っています。

## 学校公開（授業参観）

11月5日（火） 8:45～11:20

1・2・3限の授業公開

1学期に引き続き、今年度2回目の「学校公開」を行いました。保護者の方をはじめとして、地域の方や近隣の学校関係者の方にも足を運んでいただき、ありがとうございました。普段の学校生活の様子をご覧いただく良い機会となりました。



## 通学路清掃・あいさつ運動

11月20日（水） 登校時

通学路 ～ 幡山中学校正門

生徒が登校時にごみを拾い集める「通学路清掃」が行われました。校門前に設置された集積場では、PTA 役員や教職員、挨拶ボランティアの他に生徒会役員の協力を得て、集められたごみの分別を行いました。環境に対する意識を高めることができました。



## 2年 マナー講座

11月29日（金） 5・6限

キャリア教育の一環として、瀬戸商工会議所の協力で講師をお招きし、社会人としての礼儀やマナーを学ぶ「マナー講座」を開催しました。生徒は普段以上に姿勢を正し、緊張しながら講座に臨んでいました。12月の職場体験で生かしてほしいです。



## リサイクル用品・資源回収のお願い

幡山中学校 PTA では、1月24日（金）の新1年生入学説明会前に、新入生の保護者の方対象の「制服等リサイクル活動」を予定しています。自宅等にリサイクル可能な【制服・体操服・体育館シューズ】がありましたら、ぜひご協力をお願いいたします。回収は、本校昇降口のリサイクルボックスや来賓玄関で随時受け付けております。

また、【アルミ缶・古布・新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック】もリサイクル置き場（校舎東側）にて常時回収しています。なお、資源回収来校時に校門から車を乗り入れる場合は、生徒の登下校の時間帯は避けていただきますようお願いいたします。